

## 議会だより

### 〈山陰海岸ジオパークの視察〉

平成22年10月に世界ジオパークに認定され、昨年9月に再認定及びエリア拡大が認められた鳥取市の山陰海岸ジオパークを10月21日（水）に視察した。

鳥取砂丘サンドパルの研修室に於いて、鳥取市経済観光部鳥取砂丘・ジオパーク推進課の担当者から山陰海岸ジオパークの世界認定及び再認定とエリア拡大の経緯や取り組むうえで苦労したことなどの説明を受けた。

世界ジオパークを再認定するうえで必要なのは、推進協や市役所職員のみでの取り組みではなく、地元の方々の意識の高揚が重要であり、地元住民の皆さんを中心に日頃から活動を行なうことが再認定に繋がることを学んだ。山陰海岸ジオパークは、京都府・兵庫県・鳥取県と広範囲にまたがっており、取り組みに対する力の入れようは様々なようであり、隠岐の状況とは違うように感じた。

また、隠岐世界ジオパークより先行しているが、ジオサイトの案内人（ガイド）が少なく、併せて英語の話せるガイドも少なく、養成に取り組む必要があるとのことであった。

今回は、元々のジオサイトである鳥取砂丘と新しいエリアのおおや郷土館、井手ヶ浜を視察した。新エリアの青谷地区では、本年9月にアジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸ジオパークシンポジウムが盛大に行なわれ、隠岐世界ジオパークの関係者も参加したとのことである。

本年4月に隠岐の島と鳥取港をレインボーで結んだが、今後も継続していただきたいとのことであった。神話にある因幡の白兔も隠岐と山陰海岸との繋がりを表したもので古代の大陸、隠岐、山陰が様々な技術や文化の交流があったことを再認識した。

今回の視察により、隠岐世界ジオパークの2年後の再認定に向けて、課題は多種多様であると思うが、地元住民を中心とした活動の推進と情熱が鍵となりそうである。



鳥取市経済観光部鳥取砂丘・ジオパーク推進課による説明



鳥取砂丘ジオパークセンター



鳥取砂丘 砂の美術館

### 〈平成27年度島根県町村議会議員研修及び西ノ島町議会議員研修〉

1. 日時  
10月22日（木） 10時30分～16時30分
2. 場所  
松江市のタウンプラザしまね
3. 参加者  
県内11町村から約150名の参加
4. 内容  
・島根県町村議会議長会長のあいさつ  
・滋賀県大津市議政局の議会総務課長 清水克士氏を講師として「災害が起きたとき議会はどうすべきか」という演目でご講演をいただいた。  
・午後からは明治大学政治経済学部の牛山久仁彦教授を講師として「いま求められる議会改革とは」をご講演いただいた。
5. その他  
議会研修終了後に西ノ島町議会独自で島根県町村議会議長会清山事務局長を講師として議会活動の諸課題について研修を受けた。

西ノ島町議会広報調査特別委員会

皆さんは「クリスマス」という行事をご存知だと思います。実は、クリスマスのほかにも、12月には人気のある祝日がいくつかあります。今回は、日本にまだ広まっていないアメリカのホリデーズ（祝日）を紹介します！

### クワンザー

アフリカ系アメリカ人がアフリカの文化を祝う一週間で、12月26日～1月1日に行います。米国由来の祭日で、「結束」「信頼」等、七つの信条を表す黒・赤・緑色のキャンドルが灯され、キャンドル・スタンドの前に、収穫を表すフルーツ、その家庭の子どもの人数分のトウモロコシ、そしてプレゼントを置きます。昔、アメリカでは人身売買が合法とされていましたが、クワンザーは、奴隷制度で生涯苦勞した先祖のことを思う期間でもあり、暗い歴史を考えながら明るい未来を祝う期間でもあります。カラフルな衣装を着たり、アフリカの伝統的な踊り等を楽しめるイベントが毎年全国で行われています。



### ハヌカ

ユダヤ教の言い伝えに関わる8日間の「光の祭典」で、今年は12月6日～14日に行います。昔々、電気がなかった時代に、ある集団が光がなくて困っていましたが、手元にはわずかな量の油しかなく、火を付けたら一日ももたないと心配していましたが、奇跡的に、そのわずかな量で8日間も過ごすことができ、集団全員が助かりました。現代では、家でキャンドル・スタンドを用意し、每晚、8日間の間、一本ずつ火をつけていくのがハヌカの代表的な慣習です。伝説で「油」に助けられたことから、油を使ったドーナツや揚げ菓子が人気です。ドレイデルと呼ばれるコマ（おもちゃ）もあり、飴を賭けて遊ぶ人もいます。

### ユール祭

太陽を歓迎し祝う祭りです。冬至の日（今年は12月22日）に行いますが、ユール薪が最も知られている慣習かもしれません。薪に常緑樹の葉っぱやリボンを飾り、火をつけて炊きます。実は、日本でクリスマスに食べられるあのロールケーキ「ブッシュ・ド・ノエル」は、ユール薪を元にしています！時代の流れで、古代のユール祭りの慣習が現代のクリスマスの慣習にもなっているようです。



無宗教で欧米系の私は、クリスマス、クワンザー、ハヌカのパーティーに誘われ参加したことがありますが、どれも面白かったです。今年は日本のクリスマスケーキを食べながら、ドレイデルとユール薪を楽しんでみたいと思っています。西ノ島町の皆さん、ハッピー・ホリデーズ！（よい祝日を！）

よしの つよし  
吉野 剛



出身 船越  
趣味 テニス・水泳

まえいた ひろふみ  
前板 宏文



出身 浦郷  
趣味 カクテル作り

10月1日から集落支援員として活動させていただくことになりました吉野剛です。いろいろな仕事で学んだ経験を活かし、集落の活性化に役立てていけたらと思います。

まだわからないことが多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、皆様から愛される集落支援員を目指して頑張りますのでよろしくお願いいたします。

10月から集落支援員として活動させて頂くことになりました。

地域の課題を拾い上げ、改善案を提案していきたいと考えています。

地域の活動を支えられるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

今秋より、新たに2名の方が集落支援員に就任しました。宜しく願います。

## 集落支援員の紹介

毎日を笑顔で暮らそう